

全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

- 発生動向の概況 《2005年34週》
- 定点医療機関からのコメント
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数
 - 男女別
 - 推移グラフ
 - 保健所別
 - 保健所別(定点当たり)
 - 年齢階級別
- 病原体・抗体検査情報
 - 週別検出状況
 - 臨床診断名別検出結果
- 感染症豆知識「マラリア」

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

発生動向の概況 《2005年34週》

(全数把握対象疾患)

- ・今週報告された腸管出血性大腸菌感染症20症例中4症例で焼肉、ユッケ、レバ刺しの喫食が確認されている。O157(VT1+VT2)の1症例は32週に報告された症例の家族である。
- ・33週のアメーバ赤痢6件中1件が取り下げられた。

区分	疾患	報告 件数	情 報 (検出病原体・血清型・推定感染経路等)	推定感染地
二類	細菌性赤痢	2	ソネ菌	国内、中国
	腸チフス	1		インドネシア(バリ島)
三類	腸管出血性大腸菌 感染症	20	O157 VT1(1件)、O157 VT2(10件)、 O157 VT1・VT2(8件)	国内16件、不明3件
			O63 VT2(1件)	国内
四類	E型肝炎	1	推定感染経路: 飲食等による経口感染	ミャンマー
	デング熱	2		インドネシア(バリ島)、 タイ
	マラリア	1	三日熱マラリア	エチオピア
五類	アメーバ赤痢	1	推定感染経路: 不明	国内
	ウイルス性肝炎	1	B型 推定感染経路: 異性間性的接触	国内
	HIV感染症	11	無症候性キャリア7件、AIDS3件、その他1件 推定感染経路: 異性間性的接触2件、 同性間性的接触9件	国内10件、 フィリピン1件
	梅毒	1	無症候梅毒 推定感染経路: 異性間性的接触	国内
	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	1	vanC型 推定感染経路: 不明	国内

(推定される感染経路及び感染地は医師の届出によるものである。)

(定点把握対象疾患 ー小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点ー)

- ・全疾患とも報告数の少ない状態が続いている。

(検査情報)

- ・インフルエンザの2件は母子で、中国への渡航歴がある。
- ・腸管出血性大腸菌の検出が増加している。

臨床診断名等	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
髄膜炎	14	髄液	エンテロウイルス	遺伝子
髄膜炎	1M	髄液	エンテロウイルス	

臨床診断名等	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法	
ムンプス	9	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	遺伝子	
ムンプス	5	咽頭拭い液	アデノウイルス		
末梢神経炎	61	咽頭拭い液	エンテロウイルス		
敗血症	1M	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB3型		
腸重積	1	糞便	エンテロウイルス		
熱性痙攣	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型		
手足口病	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、 コクサッキーウイルスA16型、 ヒトヘルペスウイルス6型		
不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型		
不明発しん症	7	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19		
川崎病	11M	糞便	ポリオウイルス1型		
咽頭炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス		
咽頭炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス		
急性気管支炎	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス		
インフルエンザ	9	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3(香港)型		
インフルエンザ	44	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3(香港)型		
喘息様気管支炎	9M	咽頭拭い液	RSウイルス		
急性上気道炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス		分離*
急性下痢	74	糞便	A群ロタウイルス		抗体
細菌性赤痢	25	菌株	ソネ菌		生化学的 性状 & 血清型 試験
細菌性赤痢	22	菌株	ボイド菌(2型)		
腸チフス	22	菌株	チフス菌		
腸チフス	24	菌株	チフス菌		

* 遺伝子検査で報告済みの検体を含む。

腸管出血性大腸菌 菌株検査情報

血清型	産生毒素			合計
	VT1	VT2	VT1・VT2	
O157		7	12	19
O26	1			1

定点医療機関からのコメント

今週は定点医療機関からのコメントはありませんでした。

全数把握対象疾患 患者報告数 2005年34週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		31週	32週	33週	34週	年累計	34週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ	2				5	2	33
	細菌性赤痢			1	2	55	9	359
	ジフテリア							
	腸チフス			1	1	6	1	33
	パラチフス					3		10
三類	腸管出血性大腸菌感染症	13	14	19	20	147	177	2190
四類	E型肝炎				1	6	()	(31)
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					13	(1)	(132)
	エキノコックス症	1				1		12
	黄熱							
	オウム病					2		26
	回帰熱							
	Q熱					3		8
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症							2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病					3		104
	デング熱	1	1		2	8	1	32
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						1	31
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
Bウイルス病								
ブルセラ症	1				1		1	
発しんチフス								
ボツリヌス症					1			
マラリア				1	12	1	45	
野兔症								
ライム病	2				3		5	
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症	1		2		14	2	142	
レプトスピラ症					1	()	(4)	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	2	8	5	1	123	9	454
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)				1	28		187
	急性脳炎					13	()	(129)
	クリプトスポリジウム症					1		5
	クロイツフェルト・ヤコブ病					11	2	94
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					2	1	40
	後天性免疫不全症候群	11	14	9	11	291	11	765
	ジアルジア症					8		44
	髄膜炎菌性髄膜炎					3		8
	先天性風しん症候群							
	梅毒		2	2	1	50	7	345
	破傷風					1	2	66
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	9		49

2005/09/05集計

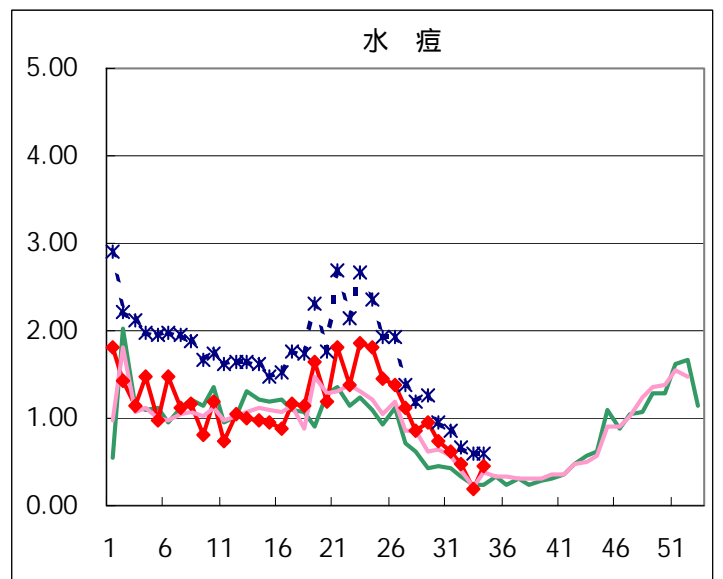
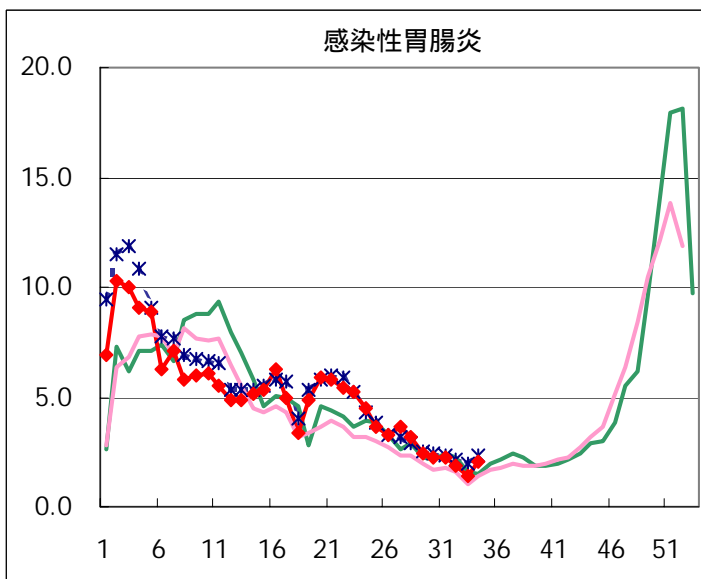
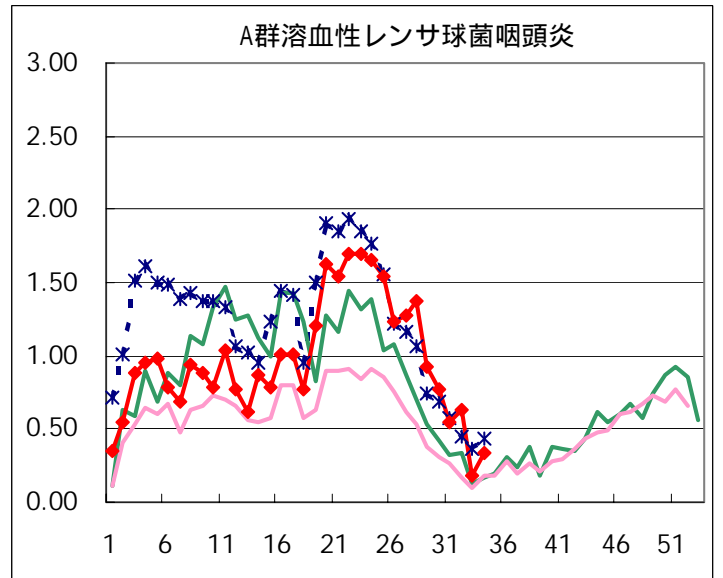
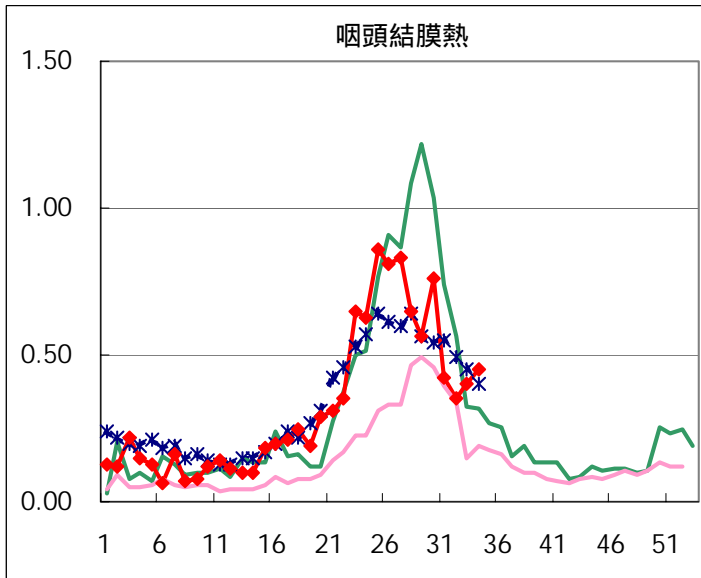
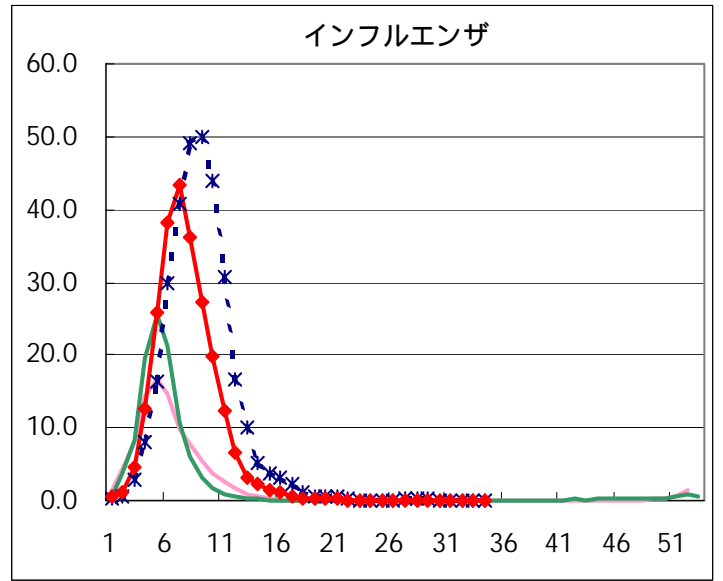
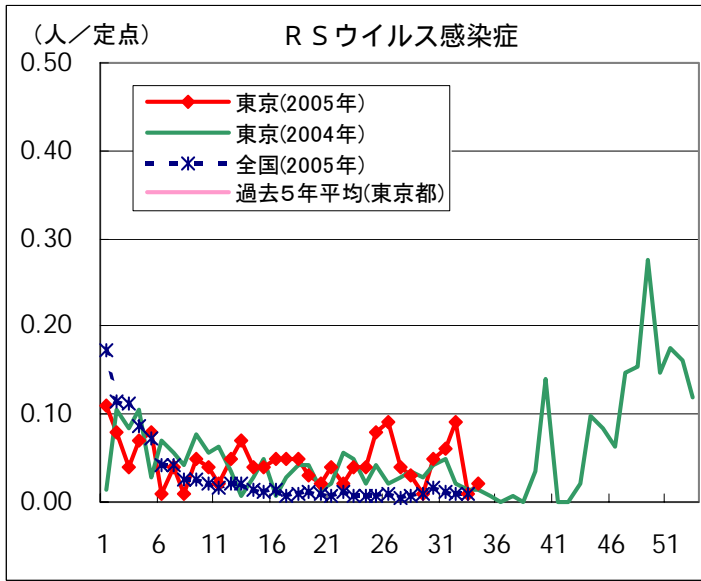
(カッコ内の数値は33週分)

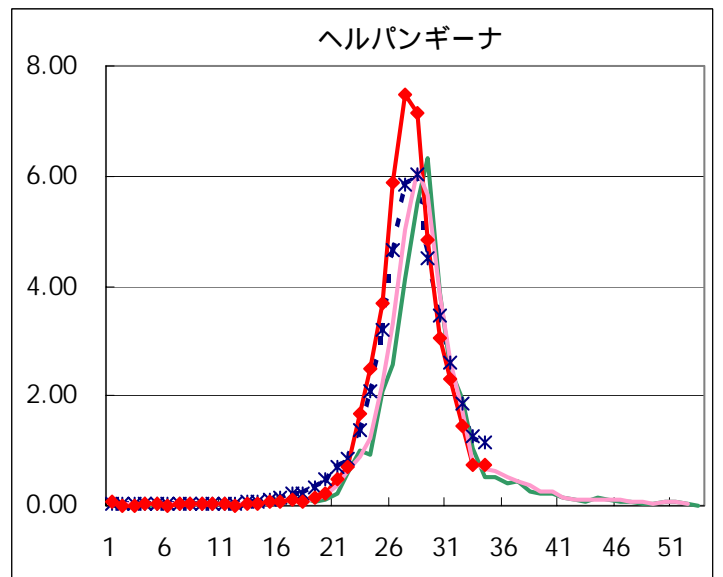
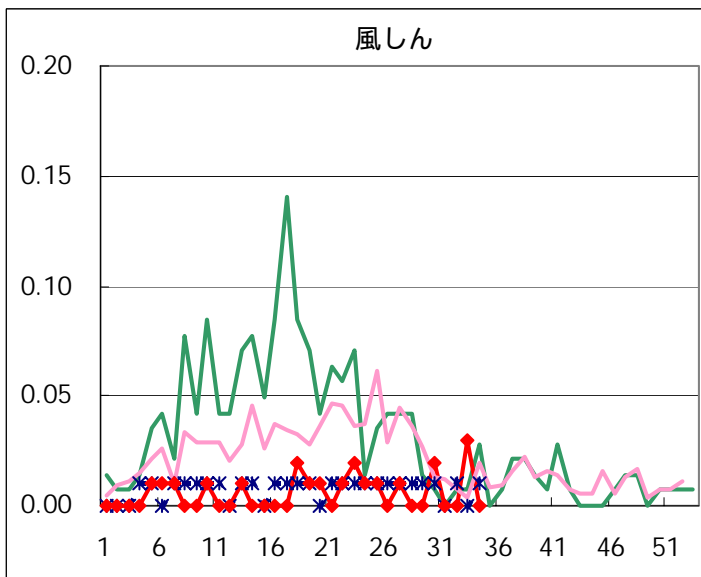
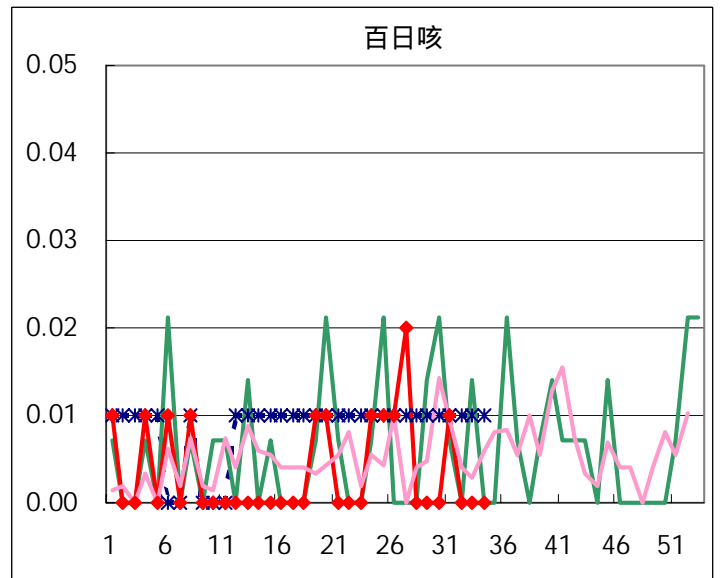
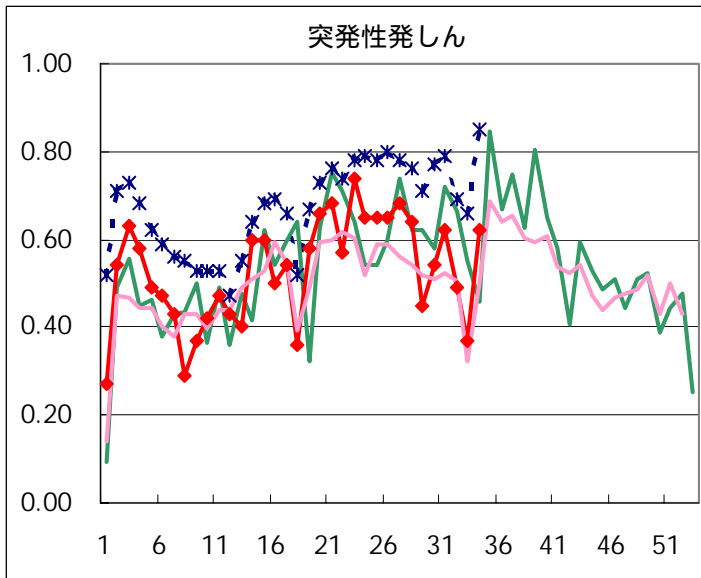
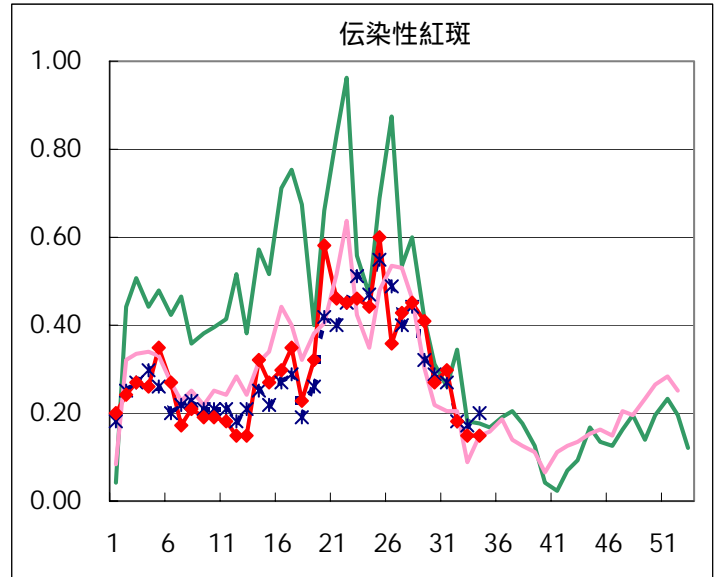
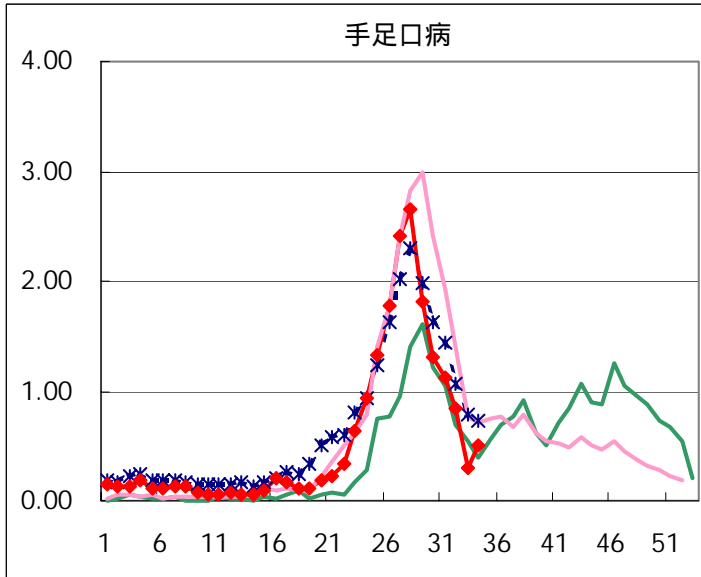
五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2005年34週

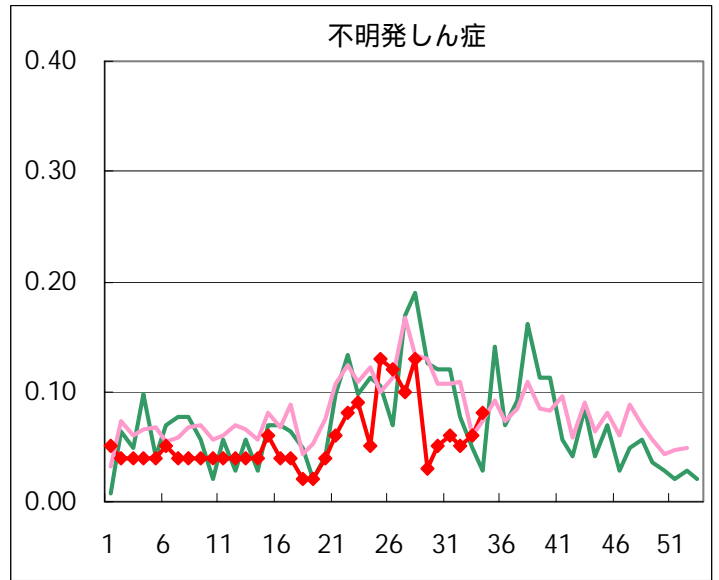
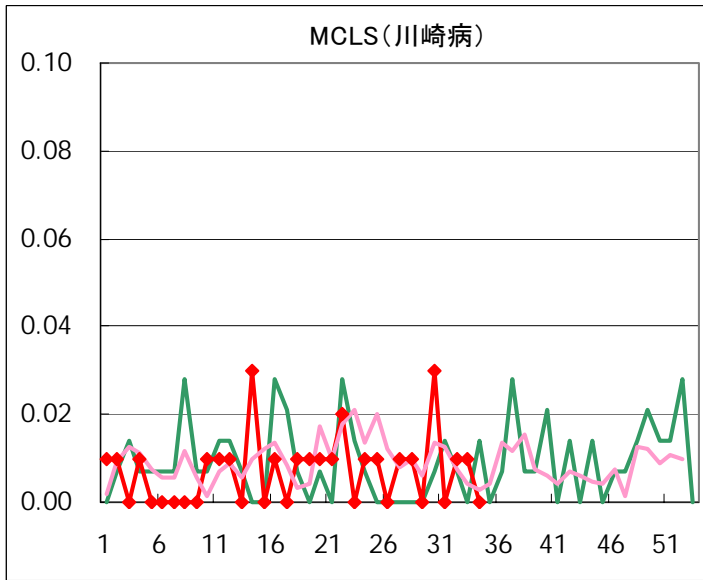
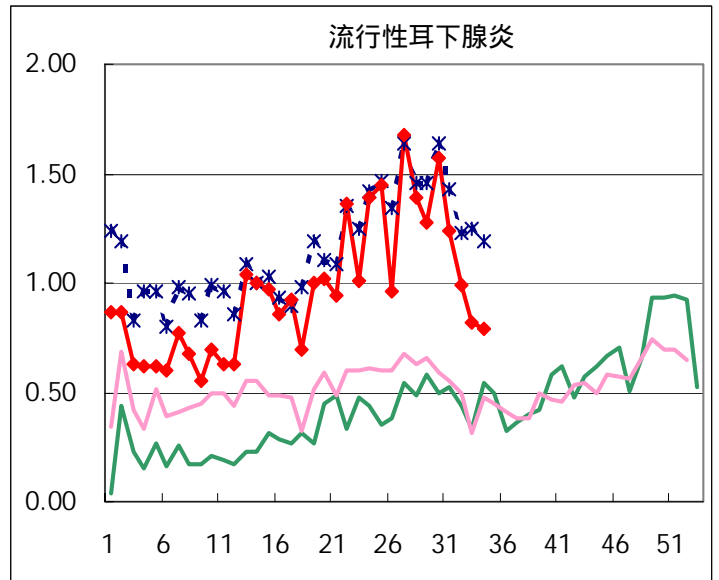
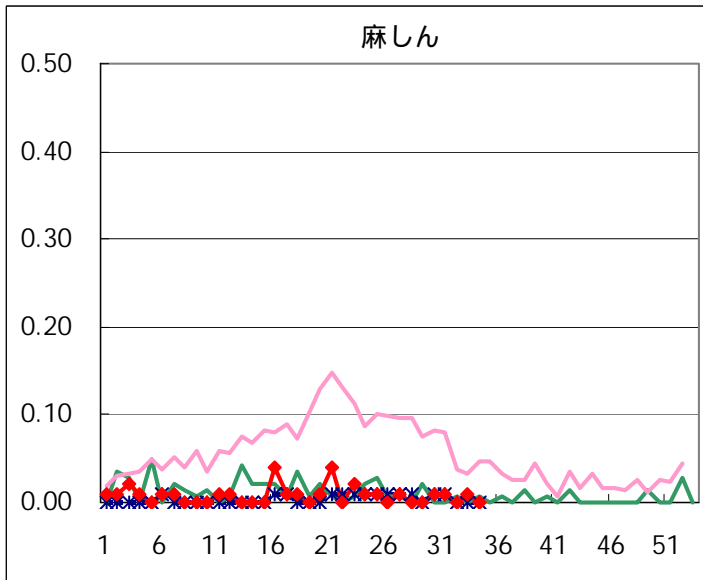
疾病名	性	2005年				4週合計	年累計
		31	32	33	34		
RSウイルス感染症	男	4	8	1	1	14	123
	女	5	5	1	2	13	98
インフルエンザ	男						20,997
	女						21,380
咽頭結膜熱	男	36	20	40	40	136	865
	女	23	30	17	24	94	702
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	41	55	12	25	133	2,554
	女	35	35	13	23	106	2,113
感染性胃腸炎	男	168	155	111	169	603	12,830
	女	150	109	82	125	466	11,936
水痘	男	46	36	9	30	121	2,898
	女	41	31	20	34	126	2,572
手足口病	男	80	59	21	39	199	1,458
	女	81	62	22	32	197	1,177
伝染性紅斑	男	23	13	12	11	59	711
	女	20	13	9	11	53	755
突発性発しん	男	48	38	22	55	163	1,315
	女	40	32	30	33	135	1,240
百日咳	男	1				1	10
	女						5
風しん	男						9
	女			4		4	19
ヘルパンギーナ	男	168	110	55	54	387	3,217
	女	162	94	53	49	358	3,002
麻しん(成人麻しんを除く)	男	1				1	15
	女			2		2	23
流行性耳下腺炎	男	87	63	65	61	276	2,485
	女	89	77	52	51	269	2,141
不明発しん症	男	2	4	4	6	16	152
	女	6	3	4	5	18	112
MCLS	男			1		1	21
	女		1			1	11
急性出血性結膜炎	男						5
	女		1			1	2
流行性角結膜炎	男	13	6	10	5	34	214
	女	8	5	4	10	27	167
細菌性髄膜炎	男						4
	女			2		2	5
無菌性髄膜炎	男		2	1	2	5	15
	女	1				1	7
マイコプラズマ肺炎	男	1		1	2	4	44
	女	3		1		4	40
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男						2
	女						2
成人麻しん	男						
	女						

五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2005年34週現在

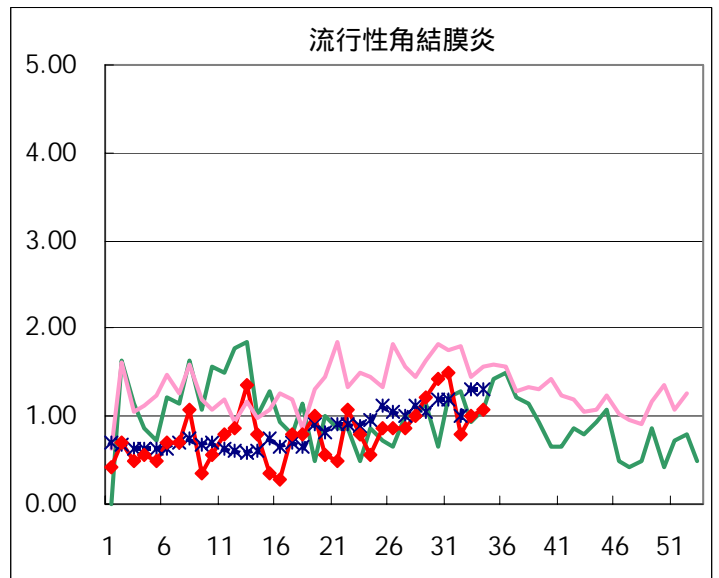
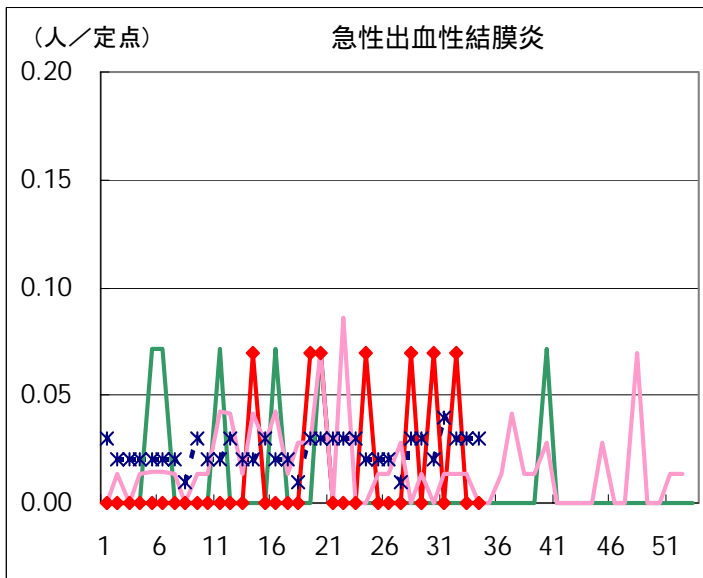
◆ 小児科・インフルエンザ定点



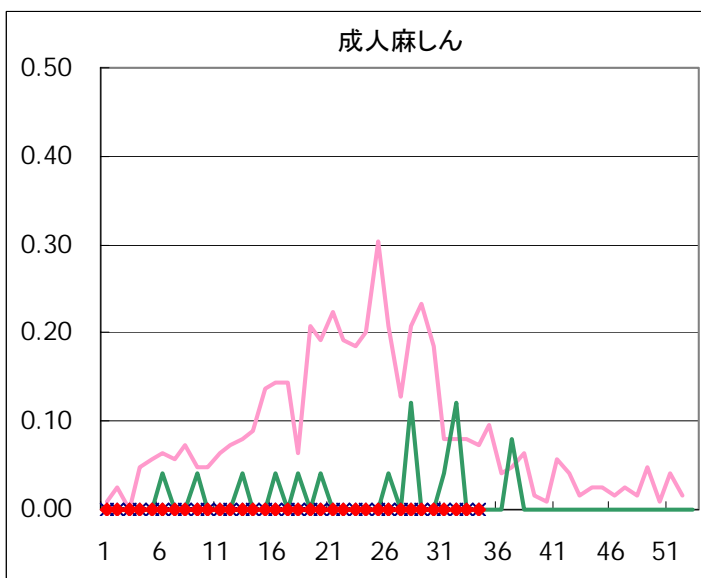
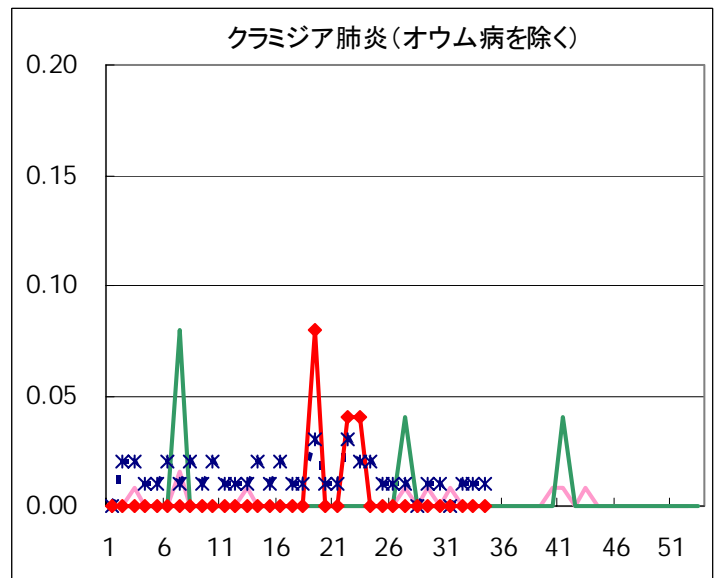
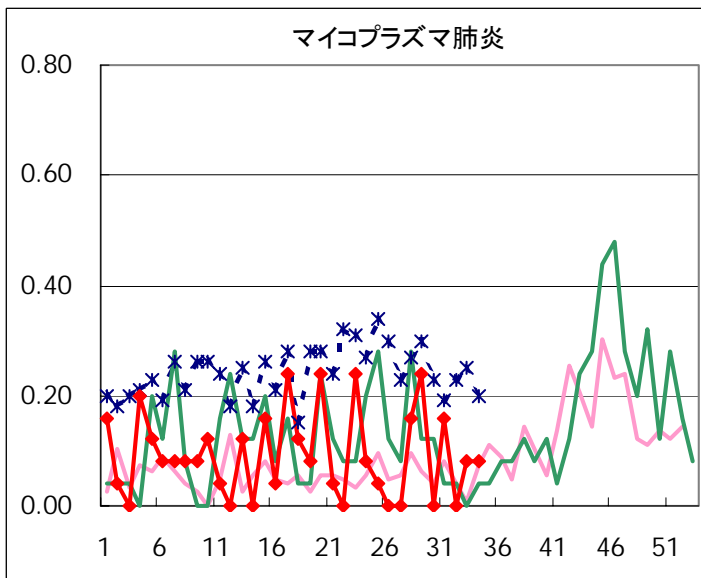
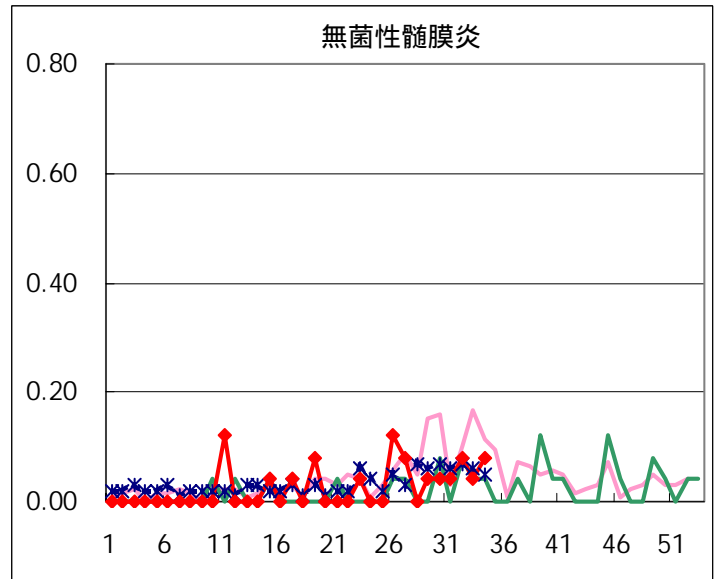
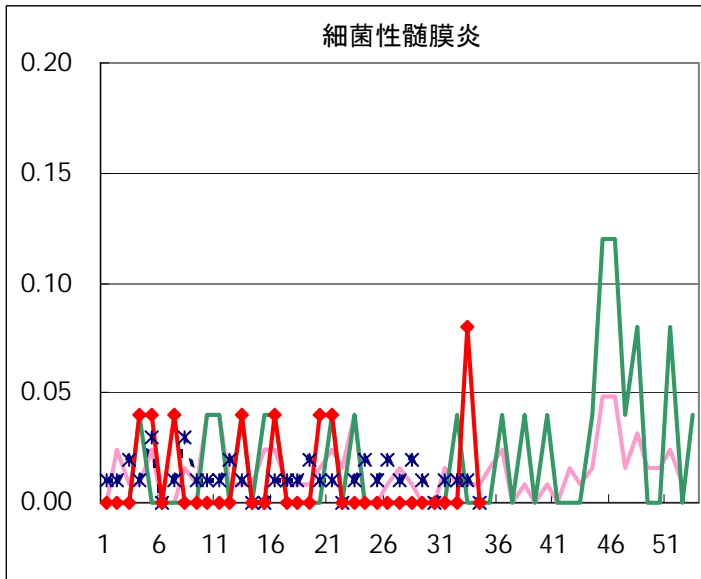




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)		
定点種別	疾患	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻疹	
小児科	上記を除く疾病	142

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年34週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田						1	1			
中央区				1	3				2	
みなと	3		22	4	6	3	2		1	
新宿区					9		1	2	1	
文京			2		6				1	
台東				2	12	2	3		6	
墨田区					3		3		3	
江東区				1	15	1	1		1	
品川区			2	1	25	8	8	1	2	
目黒区				1	1	1	2			
大田区			5	3	26	6	8	1	7	
世田谷					10	5	2		5	
渋谷区				1	10	3	5		3	
中野区			1	2	15	2		1		
杉並			1	3	24	1		2	2	
池袋					1		1		1	
北区			2		8	7	4	4	6	
荒川区			2		4				2	
板橋区					9		1		3	
練馬区			2	4	2	1		1	6	
足立			1		11	1				
葛飾区			2	3	3	6	1	3	5	
江戸川			1	2	9	2	1		3	
西多摩			9	2	4	1	5	2	2	
八王子			1						1	
南多摩			4	4	10	3	7	1	2	
町田			3	8	27	5	5		1	
多摩立川			3		9		2	2	1	
多摩府中				5	11	2	7	2	12	
多摩小平			1	1	21	2	1		8	
島しょ						1			1	

東京都合計	3	-	64	48	294	64	71	22	88	-
定点当り報告数	0.02	-	0.45	0.34	2.07	0.45	0.50	0.15	0.62	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年34週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田		1		1					4
中央区									6
みなと						3			44
新宿区		2		7		1			23
文京		1		1		2			13
台東		5		1					31
墨田区									9
江東区		3		4					26
品川区		10		4			2		63
目黒区		2							7
大田区		6		13			1		76
世田谷		3		4					29
渋谷区		7		1					30
中野区		1		7					29
杉並		1		4					38
池袋		1		2					6
北区		7		15					53
荒川区		1		1		1			11
板橋区				2			3		18
練馬区		2		7					25
足立		1							14
葛飾区		4		9			1		37
江戸川		3		5					26
西多摩				4					29
八王子		1							3
南多摩		5		1					37
町田		12		1			3		65
多摩立川				2		2			21
多摩府中		7		7			1		54
多摩小平		15		9		6			64
島しょ		2							4

東京都合計	-	103	-	112	-	15	11	-	895
定点当り報告数	-	0.73	-	0.79	-	1.07	0.08	-	

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年34週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田						0.25	0.25			
中央区				0.33	1.00				0.67	
みなと	0.50		3.67	0.67	1.00	0.50	0.33		0.17	
新宿区					1.50		0.17	0.33	0.17	
文京			0.67		2.00				0.33	
台東				0.67	4.00	0.67	1.00		2.00	
墨田区					1.00		1.00		1.00	
江東区				0.33	5.00	0.33	0.33		0.33	
品川区			0.33	0.17	4.17	1.33	1.33	0.17	0.33	
目黒区				0.33	0.33	0.33	0.67			
大田区			0.56	0.33	2.89	0.67	0.89	0.11	0.78	
世田谷					1.25	0.63	0.25		0.63	
渋谷区				0.25	2.50	0.75	1.25		0.75	
中野区			0.17	0.33	2.50	0.33		0.17		
杉並			0.17	0.50	4.00	0.17		0.33	0.33	
池袋					0.20		0.20		0.20	
北区			0.50		2.00	1.75	1.00	1.00	1.50	
荒川区			1.00		2.00				1.00	
板橋区					1.50		0.17		0.50	
練馬区			0.40	0.80	0.40	0.20		0.20	1.20	
足立			0.25		2.75	0.25				
葛飾区			0.50	0.75	0.75	1.50	0.25	0.75	1.25	
江戸川			0.25	0.50	2.25	0.50	0.25		0.75	
西多摩			1.80	0.40	0.80	0.20	1.00	0.40	0.40	
八王子			0.50						0.50	
南多摩			1.33	1.33	3.33	1.00	2.33	0.33	0.67	
町田			1.50	4.00	13.50	2.50	2.50		0.50	
多摩立川			0.50		1.50		0.33	0.33	0.17	
多摩府中				0.50	1.10	0.20	0.70	0.20	1.20	
多摩小平			0.17	0.17	3.50	0.33	0.17		1.33	
島しょ						1.00			1.00	

東京都合計	3	-	64	48	294	64	71	22	88	-
定点当り報告数	0.02	-	0.45	0.34	2.07	0.45	0.50	0.15	0.62	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年34週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田		0.25		0.25				
中央区								
みなと						3.00		
新宿区		0.33		1.17		0.50		
文京		0.33		0.33		2.00		
台東		1.67		0.33				
墨田区								
江東区		1.00		1.33				
品川区		1.67		0.67			0.33	
目黒区		0.67						
大田区		0.67		1.44			0.11	
世田谷		0.38		0.50				
渋谷区		1.75		0.25				
中野区		0.17		1.17				
杉並		0.17		0.67				
池袋		0.20		0.40				
北区		1.75		3.75				
荒川区		0.50		0.50		1.00		
板橋区				0.33			0.50	
練馬区		0.40		1.40				
足立		0.25						
葛飾区		1.00		2.25			0.25	
江戸川		0.75		1.25				
西多摩				0.80				
八王子		0.50						
南多摩		1.67		0.33				
町田		6.00		0.50			1.50	
多摩立川				0.33		2.00		
多摩府中		0.70		0.70			0.10	
多摩小平		2.50		1.50		6.00		
島しょ		2.00						

東京都合計	-	103	-	112	-	15	11	-
定点当り報告数	-	0.73	-	0.79	-	1.07	0.08	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2005年34週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月					8		1		5
～1歳			3		24	3	8	1	36
1歳			5	1	43	14	17	2	41
2歳			10		23	13	12	3	6
3歳			9	5	29	19	8	3	
4歳			10	6	24	8	9	4	
5歳			7	10	19	1	6	3	
6歳			3	6	14	1	2	2	
7歳			3	3	11	3	3	2	
8歳			6	6	13	1	2		
9歳			4	3	14				
10～14歳				3	14	1	1	1	
15～19歳				1	4		1		
20～29歳	3		4	4	54		1	1	
30～39歳									
40～49歳									
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	3	-	64	48	294	64	71	22	88
先週比	1	0	7	23	101	35	28	1	36

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～6ヶ月			2						
～1歳			5						
1歳			30		5			5	
2歳			24		13			2	
3歳			13		19				
4歳			9		17				
5歳			5		16				
6歳			4		14			2	
7歳			1		6			1	
8歳			1		5		1		
9歳			2		5				
10～14歳			5		10		1	1	
15～19歳					1		1		
20～29歳			2		1				
30～39歳							7		
40～49歳							3		
50～59歳							1		
60～69歳							1		
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	-	103	-	112	-	15	11	-
先週比	0	-4	-5	-2	-5	0	1	3	-1

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2005年27週～34週

検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2005年								
		27	28	29	30	31	32	33	34	
ウイルス	アデノ	2	7	2	1	5	12	8	5	42
	ライノ					2	2	1		5
	ポリオ						2		1	3
	コクサッキーA群						1		1	2
	コクサッキーB群						1		1	2
	エコー						5			5
	エンテロ71									
	その他のエンテロ	9	12	9	2	5	6	6	5	54
	単純ヘルペス	1	2	1	1		1	1		7
	水痘・帯状疱疹	1					1			2
	ヘルペス6/7	4	2				7	2	3	18
	EB			1	2	2	1			6
	サイトメガロ		1			2	1	2		6
	ムンプス	1			3	3	2	3	1	13
	麻疹									
	風しん									
	パルボB19						1	1	1	3
	RS	1				1	2		2	6
	ノロ	4				4	10			18
	ロタ								1	1
インフルエンザAソ連型										
インフルエンザA香港型				1				2	3	
インフルエンザB型										
デング			1					1	2	
その他のウイルス										
細菌	カンピロバクター					1				1
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌	2	9	9	10	9	11	15	20	85
	その他の腸管系病原菌		1		1	2		1	4	9
	溶血性レンサ球菌	2	3	3	2	3			3	16
	MRSA	1	2	1	1	1				6
	MSSA							1		1
	その他の細菌				1			1		2
その他の病原体							2			2

臨床診断名別検出結果 2005年27週～34週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他の	合計
搬入検体数	3	31	30	211	66			8	6	4	2	37	11	8			259	
アデノ		10	6	2				3	2	2	1	1	2				13	42
ライノ		1			2							1		1				5
ポリオ														2			1	3
コクサッキーA群									1					1				2
コクサッキーB群																	2	2
エコー			1									2					2	5
エンテロ71																		
その他のエンテロ		7	4	1	12			4	3			9					14	54
単純ヘルペス		1			2			1									3	7
水痘・帯状疱疹														2				2
ヘルペス6/7		2							1	1	8						6	18
EB		1								1							4	6
サイトメガロ			3									1					2	6
ムンプス					8								5					13
麻疹																		
風しん																		
パルボB19											2	1						3
RS	1	1	4															6
ノロ				18														18
ロタ				1														1
インフルエンザAソ連型																		
インフルエンザA香港型	2																1	3
インフルエンザB型																		
カンピロバクター				1														1
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌				11													74	85
その他の腸管系病原菌				1													8	9
溶血性レンサ球菌																	16	16
その他の病原体																	13	13
備考	この表の「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」と「その他の病原体」の合計である。																	

< 感染症豆知識 >

マラリア

マラリアは蚊によって媒介される原虫感染症である。世界では年間3～5億人の罹患者と150～270万人の死者があると推定される。4種の原虫によりそれぞれ、熱帯熱、四日熱、三日熱、卵型の4種のマラリアが引き起こされる。経過が悪性で早期に治療しないと死亡する危険性の高い熱帯熱マラリアと比較的穏やかな経過をたどる他の3種のマラリアに大別できる。熱帯熱マラリアでは脳症、肺水腫、急性呼吸窮迫症候群、腎不全、出血傾向、代謝性アシドーシスなどを生じ、重症化し、死亡する場合がある。日本では第二次世界大戦以前は年間約2万人の土着マラリア患者の発生があった。1960年頃には土着マラリアは消滅し、それ以後は輸入マラリアが年間120例前後発生し、その約半数が届出されている。届出患者の内訳は三日熱マラリアが最も多く約50%を占め、次いで熱帯熱マラリアが30～40%を占める。感染地はアフリカ、東南アジア、インドが多い。国内感染例は、感染者からの輸血や針刺し事故、空港周辺での感染によるものが報告されている。検査室診断は血液塗沫ギムザ染色標本の検鏡による原虫の確認が標準的な方法である。診断・治療が遅れると重症化する。国内で認可されている抗マラリア剤はスルファドキシシンとピリメサミンの合剤およびキニーネの2種類のみで、それ以外の抗マラリア薬は厚生労働省「熱帯病治療薬の開発研究班」から治験薬として入手できる。予防法には流行国で蚊に刺されないこと、薬物予防、疑わしい症状24時間以内の緊急自己治療などがある。

(文責 関根大正)